

成果指標				
成果指標	当該年度の農地集積に協力する面積／前年度の農地集積に協力する面積×100			
指標設定の考え方	農地集積に協力する面積を増やすことが事業進捗に繋がることから、当該年度の農地集積に協力する面積と前年度の農地集積に協力する面積を比較することで効果(農地集積に協力する面積の伸び率)を測る。なお、別途事務費については、経常的経費の支出事務のため指標設定は行わないものとする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	-	-	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今後、農地集積協力金等の支出も想定されるが、現状は、事務的経費の支出のみであり認められる課題はない。なお農地中間管理事業の受け皿として「人・農地プラン」は、更に重要となることから、未策定地区への策定推進がより求められる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今後、地域農業を支えていく上で「人・農地プラン」は、農地中間管理事業の受け皿として更に重要となることから、今後一層の推進が必要となっている。特に、この計画は地域が自主的な活動として行うことが重要なために、地元との意識の高揚を図るとともに、本市の農業振興センターとしての機能を効果的に発揮して推進する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	